

基礎知識編

予算についてのさまざまな疑問に、Q&A形式でお答えします。

Q

予算とは何ですか？

A

1年間の収入と支出を見積もることです。

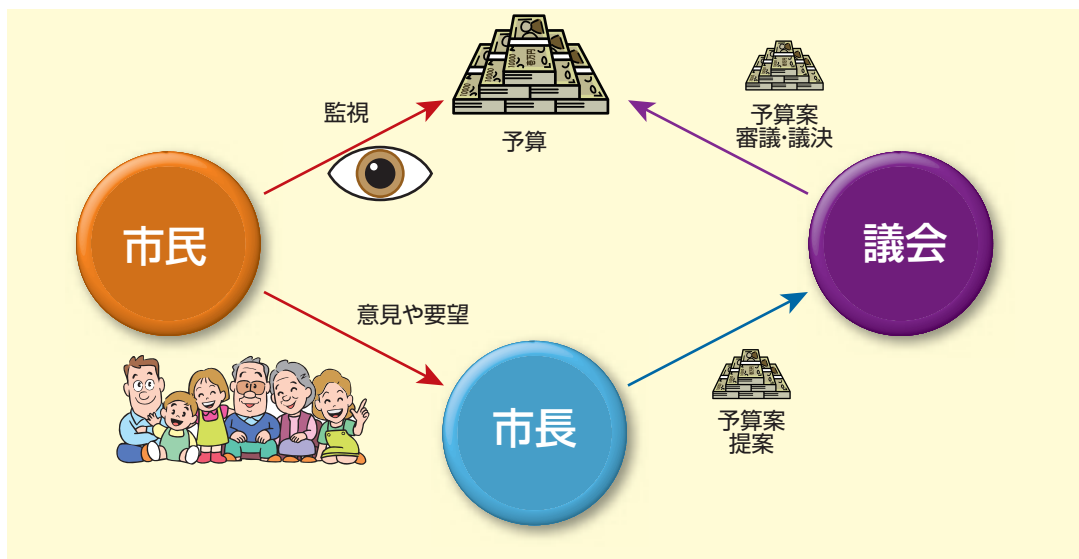
*新しい年度が始まる前に、1年間(4月～翌年の3月)の収入と、その収入をもとにどのような行政サービスを行っていくのかを計画して、その費用を見積もります。また、最初に決める1年間の予算を「当初予算」といいます。

Q

予算はどのように決めるのですか？

A

市長が予算案を作ります。それを市議会が審議し、議決することにより決まります。



Q

予定外のお金が必要になったときはどうするのですか？

A

必要な費用を見積もり、市議会へ提案し、決まります。

*年度途中の予定外の支出に対応した予算を「補正予算」といいます。

歳入編 (一般会計予算)

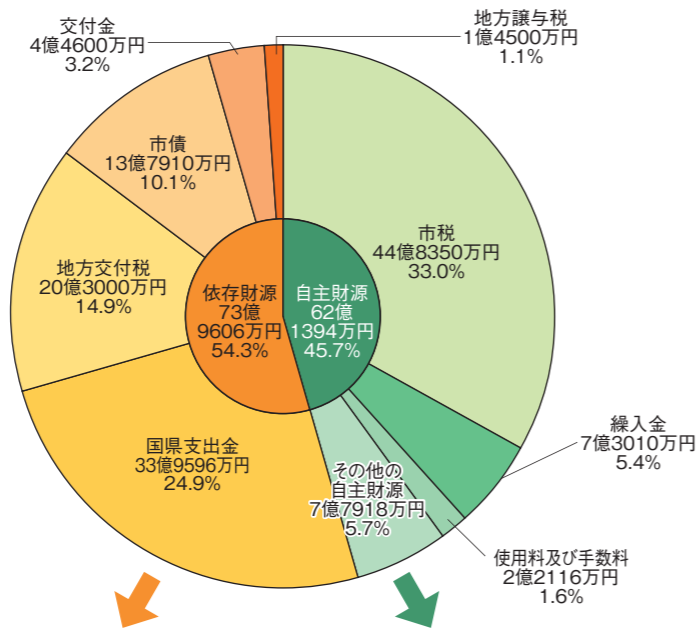
Q 歳入とは何ですか?

A 1年間に矢板市に入ってくるお金のことです。
一般会計の歳入には、市税、国・県からの支出金、
地方交付税、市債などがあります。

自主財源とは、市の自主的な収入のことです。主には、市税、使用料及び手数料などをいいます。

依存財源とは、国や県により決められた額を交付、割り当てられる収入のことです。国・県支出金、地方交付税、市債、地方譲与税などをいいます。

*自主財源の割合が多ければ、財政が安定し、自主的な事業を行いやすくなります。



依存財源	
国県支出金	33億9,596万円
皆さんが国や県に納めた税金の一部で、使い道は決められています。	
地方交付税	20億3,000万円
皆さんが国に納めた税金の一部で、使い道は自由です。	
市債	13億7,910万円
国や金融機関などからの借入金(借金)です。	
交付金	4億4,600万円
皆さんが国に納めた税金の一部で、使い道は自由です。	
地方譲与税	1億4,500万円
皆さんが国に納めた税金の一部で、使い道は自由です。	

自主財源	
市税	44億8,350万円
皆さんが矢板市に納めた税金です。	
繰入金	7億3,010万円
各種基金(貯金・運用資金)を取り崩したものです。	
使用料及び手数料	2億2,116万円
市の施設の利用や証明書を発行する時にいただくお金です。	
その他	7億7,918万円
寄付金、不動産の売却などの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金のことです。	

矢板市の収入(歳入)を家計簿にたとえてみました!

市の財政と一般の家庭では、多少異なりますが、平成25年度の一般会計予算(136億1,000万円)を3000分の1にして、家計簿に置き換えてみました。



1年間の収入状況

収入項目	金額
給与 (市税)	149万円
諸手当 (使用料及び手数料、その他)	33万円
親からの仕送り 国・県からの支出金(地方交付税、地方譲与税、交付金、国・県支出金)	200万円
貯金の取り崩し (繰入金)	25万円
借金 (市債)	46万円
合計	453万円

Q 市税にはどのようなものがあるのですか?

A **市民税**：市民の方が納める個人市民税と市内の事業所が納める法人市民税があります。
固定資産税：市内に土地、家屋を持っている人、事業所が納めます。
軽自動車税：軽自動車やオートバイなどを持っている人が納めます。
市たばこ税：たばこを購入する人が納める税金です。
都市計画税：市の都市計画区域内の用途区域内に、土地、家屋を持っている人、事業所が納めます。
その他：特別土地保有税、入湯税があります。

Q 国や県からのお金は何に使われるのですか?

A **国・県支出金は、国や県が使い道を指定して市に交付するお金です。例えば、道路や学校などの公共施設の整備や社会保障関係費などに使われます。**

歳出編 (一般会計予算)

Q 歳出とは何ですか?

A 1年間に、教育や福祉、建設などの各分野の事業にかかる支出のことです。

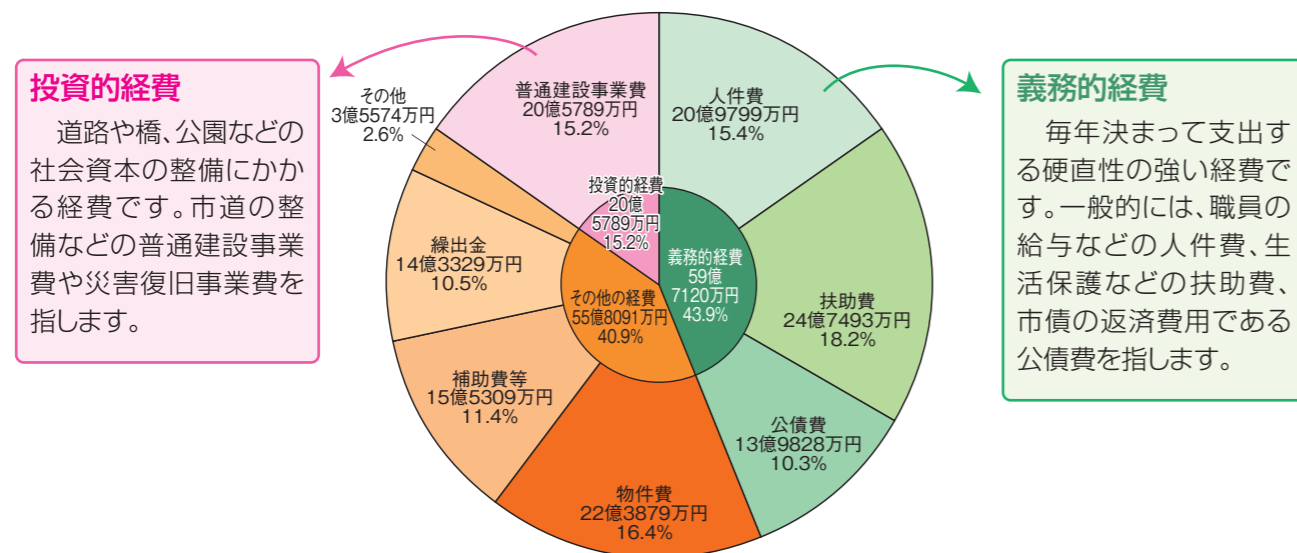
歳出 <目的別>

歳出(支出)を目的別に見ていきましょう。

議会費 1億6,579万円 議会運営や議員の議会活動などにかかる経費	総務費 13億4,546万円 市役所の運営や広報やいたの発行などにかかる経費	民生費 40億9,079万円 高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費
衛生費 8億2,004万円 健康の保持促進などにかかる経費	労働費 2,364万円 労働環境の改善などにかかる経費	農林水産業費 5億6,256万円 農業・林業・水産業の振興にかかる経費
商工費 4億6,582万円 商業・工業・観光業の振興にかかる経費	土木費 23億5,466万円 道路や橋、公園などの整備管理などにかかる経費	消防費 11億6,564万円 消防や防災にかかる経費
教育費 12億5,135万円 学校教育や生涯学習の推進などにかかる経費	公債費 13億9,828万円 市債の返済にかかる経費	その他 1,517万円 災害復旧や予定外の支出に充てるための経費

歳出 <性質別>

歳出(支出)を性質別に見ていきましょう。



矢板市の支出(歳出)を家計簿にたとえてみました!



市の財政と普通の家計では、多少異なりますが、平成25年度の一般会計予算(136億1,000万円)を3000分の1にして、家計簿に置き換えてみました。

1年間の支出状況

支出項目	金額
食費 (人件費)	70万円
光熱水費、通信費など 旅費や委託料、補助金など(補助費等、物件費)	126万円
医療費 福祉関係にかかるお金(扶助費)	82万円
自宅の増築改築 道路や学校などの建設事業費(普通建設事業費)	69万円
子どもへの仕送り 特別会計に支出するお金(繰出金)	48万円
借入金の返済 地方債の元金や利子の支払い(公債費)	47万円
その他 企業などに貸し付けるお金(その他)	11万円
合計	453万円

Q 平成25年度の歳出は、どのようになっていますか?

A 義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は、59億7,120万円です。

前年度より1億3,932万円の増となっています。このうち、人件費は、公立保育所における臨時職員の保育士を非常勤嘱託員に変更することなどにより増加しており、対前年度比1,713万円の増、扶助費は、医療費助成事業や障害者自立支援事業などの増加により、対前年度比1億3,530万円の増、公債費は、対前年度比1,311万円の減となっています。

物件費は、放射線量低減対策事業の増加により、対前年度比5億4,278万円の大幅な増となっています。物件費とは、賃金、出張旅費、備品購入費、郵便料金や電話代、委託料、使用料および賃借料などです。

投資的経費のうち補助事業費は、片岡地区市街地整備事業や造成宅地滑動崩落緊急対策事業などの増加により、対前年度比8億4,414万円の大幅な増となっています。なお、市単独事業の市道および農道整備事業などの減少により、単独事業費は対前年度比1億828万円の減となっています。